

2006

No.525

広報

# かなだの風

# 1

がつ

夢  
に  
向  
か  
っ  
て

## CONTENTS

2006年 新年のごあいさつ	2 ~ 3
美術展入賞者紹介	4 ~ 5
金田町からのお知らせほか	6 ~ 9
かなだ日記	10 ~ 13
CLOSE UP	14 ~ 15
みんなのひろば	16 ~ 19
くらしの情報	20 ~ 23



福岡県金田町

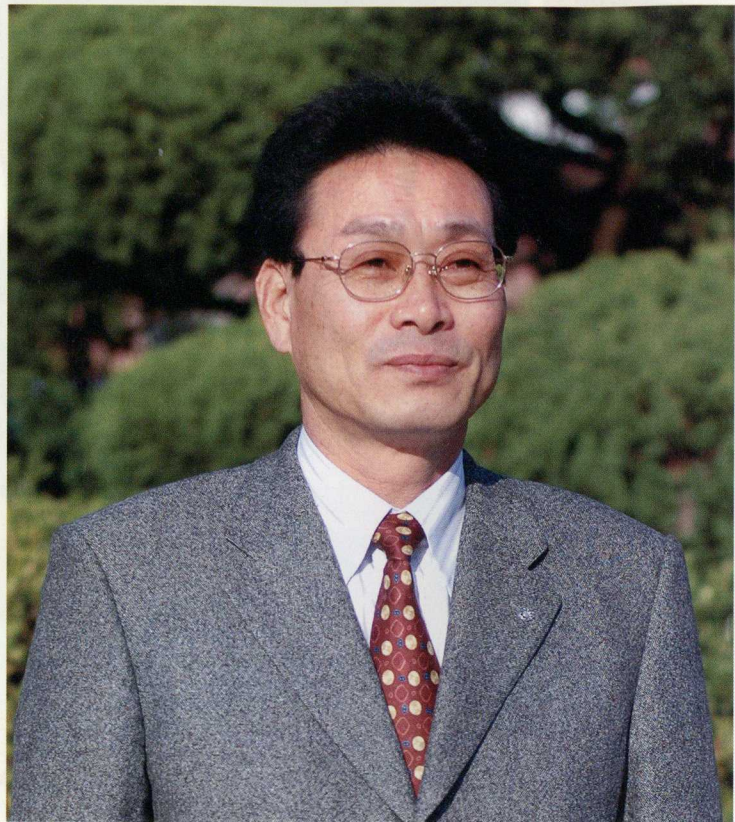
ホームページアドレス <http://www.town.kanada.fukuoka.jp>

生まれてきてよかった町、住みやすくなっ  
た町、合併してよかったという町づくり  
を目指して議会も取り組んでまいります。



金田町長

## 大島道人



新年あけましておめでとうございます。  
皆さまにはすがすがしく新年をお迎えの  
こととお喜び申し上げます。

年頭に当たり、今年が皆さまにとって  
希望に満ちた年でありませうお祈り申  
し上げますとともに、金田町にとって大  
きな転機となることのご支援に心から感謝申し上  
げます。

さて、私一昨年12月、町長に就任いた  
しまして早や一年が経ちました。ご承知  
のとおり就任は大揺れの幕開けで始まり  
ました。

時代の変遷と社会構造の変革、地方分  
権を進めるという大義名分のもとに、市  
町村合併は進められていますが、もちろ  
ん町村にとって合併は避けては通れない  
問題であることは十分理解するところで  
あります。

「田川は一つ」「下田川は一緒」での地  
域構造の中で、なぜ三町合併で急がな  
ければならなかったのか、わたしが就任す  
る直前にして三町合併のルールが固めら  
れましたが、味わったことのない苦渋の  
心境の中、町民と共に新しい町づくりの  
決意を新たにいたしました。

今日までの三町は投資的事業に大きく

ウエートを置いた行政を進めてきたと思  
っています。このような体質を合併後も  
引き継ぐようであれば、三町の合併は現  
在の金田町の行財政基盤よりも遥かに後  
退することは目に見えています。

三町の合併は今までの体質から脱皮す  
る絶好のチャンスととらえ、わたしは長  
い歴史と伝統を守りながら、子ども、孫  
の時代に向かって町民参画、町民協働に  
よる町づくり、「地域のことは地域で考  
える」「自分たちも一緒になってやる」こ  
とを基本に据え、町民皆さまと活力ある町  
づくりを目指す所存でございます。

平成の大合併という大潮流の中で、新  
たな時代の進展を的確にとらえ、未来に  
向かってしっかりと語り継がれるような  
町づくりを進めてまいらなければならな  
いと考えます。

町民の皆さま方が主役である地方自治  
を目指すとともに子どもが健やかに育ち、  
希望の持てる教育環境、社会環境の充実  
を図るため、精一杯取り組んでまいり  
ます。

何とぞ皆さま方のご理解とご協力を賜  
り、一層のご指導、ご鞭撻の程よろしく  
お願い申し上げます。町民皆さま方のご多幸  
とご健康を祈念申し上げます。年頭のご  
あいさつといたします。

明けましておめでとうございます。謹  
んで新年のお喜び申し上げます。  
昨年3月30日、市町村合併の期限切れ  
を前に町長が議会議員の全員を招集し、  
全員協議会を開きました。そこで町長は  
三町合併に前向きに取り組んでまいりま  
すと発表されましたので、金田町議会は  
全会一致で町長に協力することに決定し  
ました。翌31日に福岡県知事に町長と関  
係者一同報告に行きました。知事も非常  
に喜んで全面的に協力すると約束してく  
ださいました。

いよいよ、3月6日に新しい町「福智  
町」が誕生します。住民の福祉、教育、  
健康、環境など生まれてきてよかった町、  
住みやすくなった町、合併してよかった  
という町づくりを目指して議会も取り組  
んでまいります。そして、新しい町にな  
ったからすぐに良くなることは望めない  
にしてもレールは引かれたわけです。議  
会としてはそのレールから外れていつて  
はないかしっかりと監視していきたいと決  
意を新たにしているところでございます。  
皆さまにおかれましては新年を迎える  
にあたり、なにかと忙しいと思います。  
かぜは万病のもと。また、海外では鳥か  
ら人に移る新型のインフルエンザもある  
とのこと。しっかりと睡眠をとって、体調  
がおかしいと思ったら早めに病院にかか  
って治しましょう。そして、皆さま方  
におかれましてはどうかこの一年が健康  
で、一家繁栄、幸せなよい年でありませ  
うお祈り申し上げます。

金田町議会議長

## 能登原一

平成一八年の新年を迎え町民の皆さま  
に心からお喜び申し上げます。  
旧年の勤労感謝の日、第二十五回金田  
町短歌大会が行なわれました。この会に  
毎年佐賀と広島から参加して下さる女性  
が二人います。それは稼ぎ先の住居から  
で、時にはお孫さんを連れてこられたこ  
ともありました。年に一回のその会で、  
お話のたびに「金田はいいですね。この  
故郷を持っていると思うたびに感謝と喜  
びの気持ちが湧きます」と話しました。わ  
たしも感動しました。故郷を発見すると  
は、人の世の悠久を思う心です。  
土地を離れ、友と別れて初めて見える  
故郷という真理のいのちと言葉、その生  
活実感が、どのような異境の風土にも深  
く根を張り力を伸ばしているのですよ  
う。「往事渺茫として夢の如し問庭唯不  
言の花あり（藤原敦光の詩）」年ごとに

咲く花は物を言いませんが、その生命と  
美の実感はわたしたちに永遠の時と信頼  
を与えてくれます。何という喜びであり  
ましょうか。  
今年三月に下田川地区三町は合併して  
新しい町として自治体活動が始まります  
が、行政制度は変革しても、故郷の正気  
は絶えることなく、希望の花を咲かせ続  
けることを信じます。皆さまのご多幸を  
祈ります。

金田町教育長

## 田中貴美男

行政制度は変革しても、故郷の正気は絶  
えることなく、希望の花を咲かせ続ける  
ことを信じます。



# 今年も各部門で活躍、 金田町の芸術家たち。

作品作りや仲間とのふれあいを楽しむ、金田町の芸術家たち。10月12日～23日に福岡市で開催された福岡県シニア美術展、11月15日～27日に直方市で開催された筑豊美術展で入賞とめざましい成果を上げています。今月号は、喜びの受賞者とその作品を紹介します。



## 版画の魅力は白と黒のおもしろさ

奨励賞  
相原マサ子さん (神崎2)  
「港の風景」

「賞がもらえるなんて感激です。これも田代先生と先輩方のやさしく丁寧な指導のおかげです。版画は、掘るのも刷るのも難しいです。でも、掘り上がり刷り上がりの喜びと、白と黒のおもしろさに引きつけられました。これからもずっと続けていきたいです」

## 印画紙にロマンを描いた“写心”

奨励賞  
杉永博人さん (新町4)  
「hillock」

「筑豊美術展で、11年ぶりに奨励賞を頂きました。ただ、本賞での入賞ができなかったことは残念でした。次回は、ぜひ本賞を狙いたいです。今回の作品のテーマは『ヌードでないヌード』。女性の体をモチーフに、水墨画タッチで夏吉のロマンスが丘をイメージして、自然の雄大さを表現しました」



## 赤を表に出した心象画の世界

飯塚市長賞  
桑野佳奈さん (東金田)  
「樹影」

「自分の持ち色である赤を最大限に表に出してみようと思いました。この作品のようなイメージを表現する心象画は、万人受けしないのでしばらくは制作をしていませんでした。しかし、今回の受賞をきっかけに、心象画の要素を取り入れた新しい作風に取り組もうと思いました」



## 陶芸教室で楽しく作った作品

直方商工会議所会頭賞  
辻智子さん (堀川)  
「椿文壺」

「町の陶芸教室に入ってこのようなすばらしい賞を頂き感謝しています。これも、先生をはじめ教室のみなさんのおかげでございます。今後も元気な限り、作品作りにがんばりたいと思います」

## 色具合にこだわった力作

高齢者賞  
大熊康郷さん (人見)  
「伊羅保釉壺」

「平成17年は酉(とり)年。84歳年男の時に賞がもらえてうれしかったです。この作品は、色具合に苦労しましたが、とてもいい色が出せたと満足しています。これからも努力していい作品を作っていきます」

